

令和4年度(第18回) 春の全国中学生ハンドボール選手権大会

男子 準決勝

令和5年3月29日(水)

於:氷見市ふれあいスポーツセンター

A	矢巾町立矢巾中学校(岩手県)	対	B	富岡市立南中学校(群馬県)
---	----------------	---	---	---------------

21	9	前半	9	19
	12	後半	10	

岩手代表の矢巾と群馬代表の富岡南の準決勝は、矢巾のスタートで試合が始まった。立ち上がり、富岡南がNo.2皆瀬のサイドシュートで先制点を挙げる。矢巾もNo.3及川の速攻やNo.4福土のミドルシュートで応戦。矢巾は、変則DFで相手のミスを誘い速攻でゴールを狙うも富岡南No.1佐藤のファインセーブに阻まれ点差を広げることができない。しかし、矢巾No.1九條も富岡南のミドルシュートやカットインシュートに対して、好セーブを連発し、取ったら取り返す1点差の展開が続いた。両チームのGKの好セーブで、前半を9-9のロースコアで折り返した。

後半序盤、富岡南がNo.3臼田蒼のミドルシュートで先制するも、矢巾も取られたら取り返し、前半と同様な展開が続く。後半開始10分あたりで矢巾はマンツーマンDFをしかけ、富岡南OFに揺さぶりをかける。DFがうまく機能し、流れを引き寄せた矢巾は、カットインシュートやサイドシュートで連続得点を挙げこの試合最大の3点差をつけた。ここで富岡南がタイムアウトを取り、立て直しをはかる。タイムアウト後、富岡南No.10臼田晃がミドルシュートを決め、じわじわと点差を詰め始め、21分37秒にNo.3臼田蒼のミドルシュートで1点とした。ここで矢巾がタイムアウトをとり、直後に矢巾No.6小笠原がミドルシュートを決め2点差とする。残り30秒、富岡南はNo.2皆瀬がカットインシュートを決め、再び1点差とするも残り6秒で矢巾No.3及川がサイドシュートを決め、この試合を締めくくった。終始、両チームGKの好セーブが光る、好ゲームだった。